

南房総市行政改革推進委員会 第5回会議録

- ・開催日時 平成19年1月24日(水) 午後2時~午後2時50分
- ・開催場所 南房総市役所別館 1階大会議室
- ・出席委員 庄司眞敏委員 大和田愼一委員 古内徳子委員 忍足浩男委員
平柳常子委員 鈴木俊一良委員 早川光樹委員 平井恵美子委員
渡邊政久委員 羽山誠委員 木曾貴夫委員 川名晴作委員
忍足よね子委員 嶋田由美子委員 大橋玲委員
- ・欠席委員 稲葉輝實委員
- ・市側出席者 市長 助役 収入役 教育長 総務部長 企画部長 保健福祉部長 生活環境部長
農林水産部長 商工観光部長 建設部長 水道部長 教育次長 議会事務局長
富山支所長 三芳支所長 白浜支所長 千倉支所長 丸山支所長 和田支所長
総務課長 財政課長
行政改革推進室長 行政改革推進室係長 担当1名
- ・次第 1.開 会
2.会長あいさつ
3.本部長あいさつ
4.議 事
(1) 南房総市の行政改革について(答申案)
(2) その他
5.閉 会
- ・公開又は、非公開の別 公開
- ・傍聴者 1名

要 旨

1.開 会

2.会長あいさつ

3. 本部長あいさつ

4. 議 事

(1) 南房総市の行政改革について（答申案）

大和田副会長より説明。

今回出された意見を基に修正を行い、次回会議で市長へ答申することを決定。

【主な意見】

委 員 今回の答申する事項、その後作成される計画について、それがしっかりと実行されているかを誰がチェックしていくのか。

会 長 今回、行政改革推進委員会として、市長から諮問されたものに対し、答申を行うわけだが、それを市長が受けて計画を作成し、実行していくことになる。今後は、その実行課程の中で、行政改革推進委員会として、チェックを行い、意見等を述べていく形になると考えている。そのために、任期も4年となっている。

事務局 委員の任期を4年と定めている。今年度については、諮問に対して答申を行うという形で審議をお願いしてきた。今後は、答申を受けて作成された計画に対しての進捗状況や、結果について報告を行っていく。それについての意見を伺い、計画の見直し等についても併せて行っていきたいと考えている。年度が替わりましたら18年度の進捗状況等について報告を行い、今後の進め方等について審議を行っていただきたいと考えている。

委 員 あくまで今回は答申ということなので具体性はないが、これから計画に沿った具体的な議論をしていくということなので、今回の答申案については、これでよいのではないか。

委 員 附帯意見の市民と行政の協働による開かれた行財政運営の推進の2項目に市民が行政参画しやすい環境づくりと、男女双方の視点と特性を活かした議論ができる環境づくりに努めることとあるが、ここに各世代という表現をいれたらどうか。行政参画というと今までは、年が上の方々というイメージがある。統括事項の中にも一丸となってという表現もあるので若い世代の参加が重要になってくる。若い世代の参加ということをアピールするためにも、追加をお願いしたい。

会 長 委員からの提言について会長、副会長としても取り入れたいと思う。委員の皆さんはどうか。異議がないということなので、附帯意見の市民と行政の協働による開

かれた行財政運営の推進の2項目に各世代という表現を追加する。

(2) その他

【主な意見】

委員

幼稚園の先生について、年度初めの年少の園児は、初めて家から出て違う環境で生活する子供達が多いので、非常に手が係り大変である。年度の始め、園児が幼稚園に慣れる時期について先生を派遣するようなシステムを作ってもらえないだろうか。答申案の中にも、課題に対しての柔軟な対応という表現もある。定員適正化計画の中では、幼稚園教諭の増員はなかったが、一般行政職の職員の中にも幼稚園の先生の資格をもった人がいるのではないか。そういった職員にも協力をしてもらい、教育委員会または、拠点幼稚園で待機し、協力が必要な幼稚園に派遣を行うようなシステムを作れないだろうか。計画の中で、子供たちを大事にしていくような方向を見つけてもらいたいと考えていた。少子化の中で、南房総市の将来を担う大事な子供達を健全に育てていきたいということからの意見である。

委員

委員から育児支援の問題について意見があったが、南房総市として、育児支援や少子化の問題について今後どのように進めていくのか。

教育長

市長も教育立市ということを掲げていますので、その中でも子育て支援については、来年度どのような事業ができるか予算も含めて、直ちに実施できるものと中長期にわたって行うものについて検討中である。

5. 閉 会